#### カッパ研究会 since 2001

カッパ研究会世話人 鈴木 康久



# 市民参加型の国際会議「第3回世界水フォーラム」

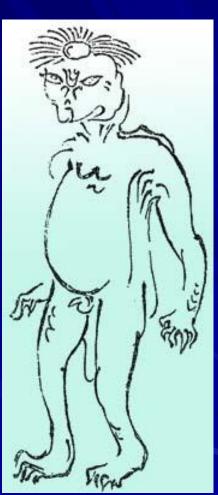


(水と文化セッション)



### 「第2回全日本カッパサミット」





#### 京の水文化を語る座談会

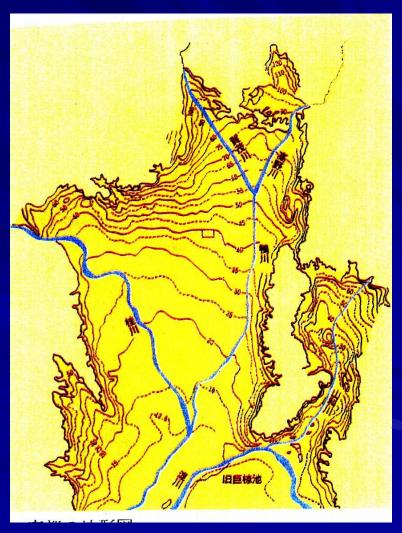


「水源の神を考える」 高井 和大氏(貴船神社宮司)

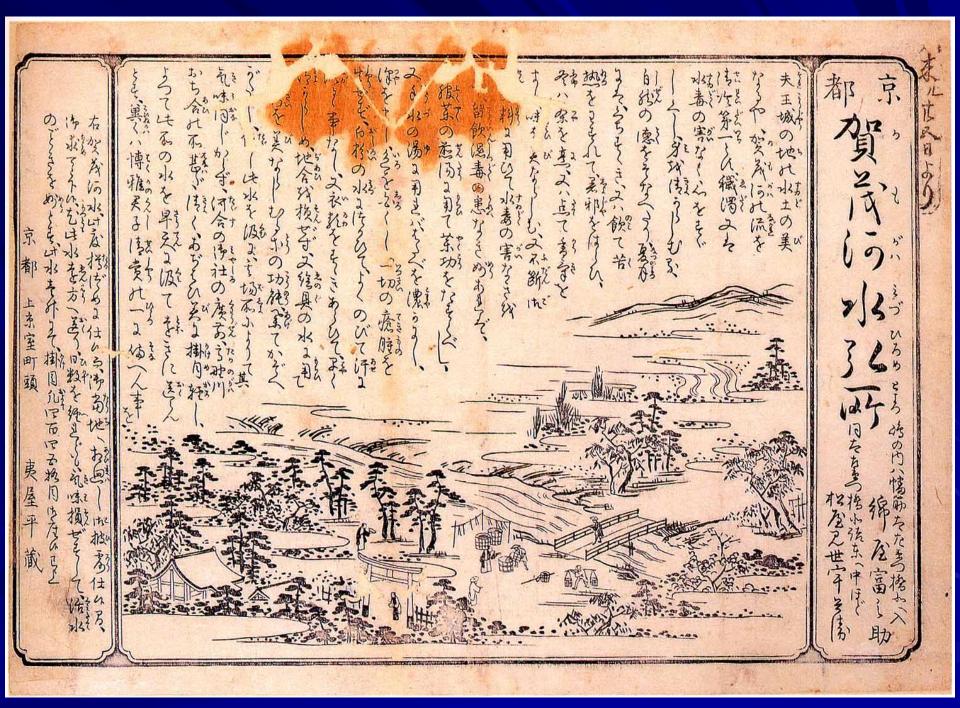
大橋智夫氏 (水琴窟ネット・kyoto会長)

#### 地下水の流れ(北から南が中心)





地形図



### 江戸時代の「京の名水」

書籍名	刊行年	著者	章名	名水数	備考
扶桑京華志	寛文 5 (1665) 年	松野 元敬	川沢	3 4	「京洛名水めぐり」 から転記
京羽二重	貞亭 2 (1685) 年	孤 松子	名水 名井	2 0 8	
京羽二重織留	元禄 2 (1689) 年	孤 松子	霊泉霊水	1 5 8	
名所都鳥	元禄 3 (1690) 年	不詳	井之部 水之部	3 1 2 5	
都花月名所	寛政 5 (1793)年	秋里 離島	清水	100	
擁州府志	貞亭元 (1684) 年	黒川 道祐		4 0	「京洛名水めぐり」 から転記
っきゃね <b>苑芸泥赴</b>	貞亭元 (1684) 年	北村 季吟		1 9	「京洛名水めぐり」 から転記
都名所図会 拾遺都名所図会	安永 9 (1780) 年 天明 7 (1787) 年	秋里 離島	-	117	カッパ研究会調査

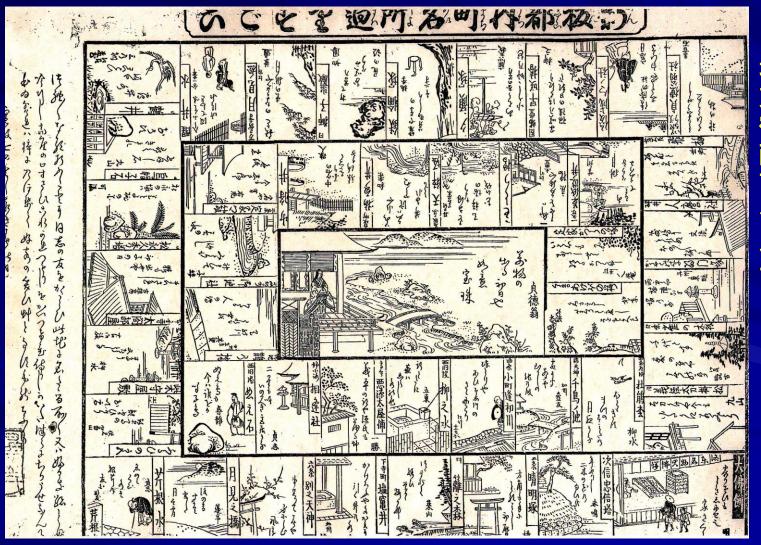




- ※ 「京洛名水めぐり(著:駒敏郎)」から転記、
- ※ 書籍に章のない場合は、文中から適宜採取

#### 町衆が楽しんだ「京の名水」

双六で楽しまれた名水:新板都内町名所廻里すご六(寛政7(1795)年)



塩竈井、 芹根水、 鶴井、 西川水、 西川に柳之水、 少町梅夏ノ井、 一条草紙洗ノ井

どのようになりますやら。 がつぶやいたり、笑ったり。 った小さなグループ。この 調べ、その成果を伝えるた 三月に京都市で開かれた第 は。カッパ研究会は、昨年 「京の水」について、カッパ わってきた水文化や現在の コーナーでは、先人から伝 めに、水の好きな人が集ま っかけに、京都の水文化を 3回世界水フォーラムをき 議に思われた方も多いので 「なぜカッパなの?」と不思 タイトルを読まれて、

都·京都

の都」と言って過言ではな だろうか。でも、京都も「水 他の都市にはない三つの特 徴を持っている。 い。京都と水のかかわりは、 ージするのは大阪やベニス 「水の都」と聞いてイメ

「日本の水の神が京都に

D100

は計画的に水路(河川)を造し発信することなら、京 鎮座されている」「平安京 が集まるなかで水文化を創

草少将の井、草紙洗ノ井」、

と。そして、人・物・情報 水に恵まれ、名水も多い」。 いて日本の中心であるこ 水の政や水を尊ぶ精神にお 「水の都」としての条件が、 整備した都である」「良い の九つの井戸を記し、 ほりかねの井、桜井」など の井、醒ヶ井…」を選んで 七名水「御手洗井、大通寺 義政に使えた能阿弥が茶の いる。小野小町ゆかりの「深

ある。 都で さ 都はま 「水の その れらの名水を紹介してい うに伝説にまつわる名水 弘法大師の「独鈷水」のよ 羽二重、都花月名所」など 街だ。江戸時代の案内書「京 戸などなど。京都は名水の 天皇が産湯に使った井 寺社仏閣と並べてこ

少納言 ある清 筆家で 平安時 支は ら、 抜け、周囲に迷惑をかけな る。新京極の人混みを通り 京極での買い物に疲れた を楽しめる。私は錦市場や たいと願いながら。 る。菅原道真公にあやかり に立ち寄ることにしてい (カッパ研究会 鈴木康久 いように冷たい水を口にす そして、今も多くの名水 錦天満宮の「錦の水」



る。

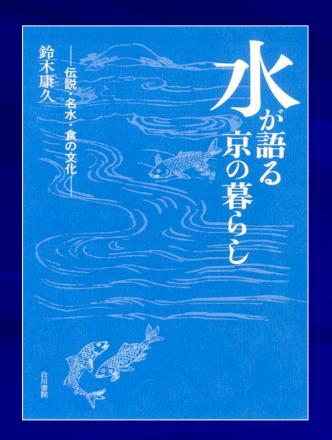
口に含むと街の雑踏を忘れられる「錦の水」 (京都市中京区新京極通錦小路)

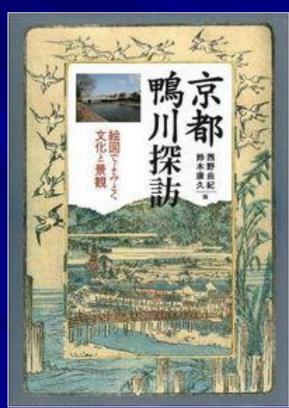
多くの名水を楽しむことができる街

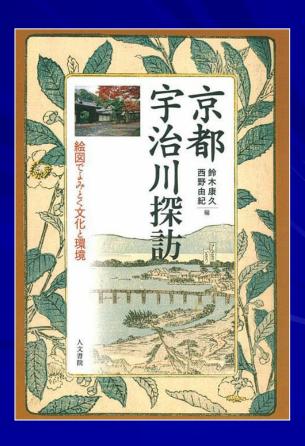
#### 書籍の出版やマップの作成



## 京都の水を楽しむカッパ研究会水との暮らしから育まれる「水文化」







#### 地域づくり活動のフルセット状況

- ■調べる(調査・講座の開催)
- 自らが伝える(フォーラム、シンポ・HP)
- 資料を作成(書籍・冊子)
- 他の力を借りて伝える(新聞コラム、出講)
- ■会員、ネットワーク
- ■社会への発信、誘導

